

以上はキング氏がバムベリ氏の最近研究の結果に基きて、スメル人の根源地に就きて述べたる所の大

る歴史上の問題として閑却する能はざる所以即ち茲に存す。  
(濱田耕作)

要なり、スメル人を古代支那人と關係ありとするが

### 古代の錫蘭

ヘンリー・パーク著

如きは、學者の一顧に値せざる僻説にして、支那文化

を以てバビロニアに淵源せりとするラクペリー氏の

Ancient Ceylon. An account of the

の學說亦た同様の運命に會せるも、吾人はバビロニ

Aborigines and of Part of the Early Civilization.

アと支那の天文學上の智識の類似等を以て決して偶

By Henry Parker. London. 1909. Royal 8°

然の一致として説き去る能はざる以上、殊にバビロ

pp. 680. With 100 illustrations.

ニア文明の先驅たるスメル人が東方中亞の地より移

此書は錫蘭に關する近年出版の諸書中抜群の値あ

住せるものなることの證明せられんとしつゝある今

る良著にして、錫蘭土著の原種族并にアリヤン民族

日、支那文明と西方文明との根本的關係はラクペリ

渡來以後に於ける錫蘭古代の文明を叙述せるものな

1氏の所説とは更に別種の新衣裳を着て現れ來るを

り。著者は他日錫蘭文明史を著さんと欲するの志あ

豫想す可からずとせんや、スメル文化と支那文化と

り、本書は即其第一編となるべき性質を有す。パー

の共同根元説の如き蓋し其の誰人も想到する一假説

カー氏は錫蘭の工務局に職を奉ずること三十餘年、

ならずんばあらず、學説は循環す、世界の文明を少

殊に古蹟保存部長として常に古代文明の遺品を調査

數の根元に歸着せしめんとするは、學者の一傾向た

し、多年研究の結果を本書に公表せり。此書は六百

り、吾人にスメル人の起源論を以に單に西亞に於け

八十頁の大冊なる上に、挿畫一百餘、小形の繪に至りては二三百種に達し、豊富の材料を供給す。本書全體を三編に分ち、第一編錫蘭の土着種族、第二編錫蘭古代の土木、第三編錫蘭古代の美術、武器、運動となせり。

第一編に於てパーカー氏が述べたる説に依れば、錫蘭の土着種族はヴェツダ (Veddā) と稱する人民にして、錫蘭の各地に散在せしが、其後中印度の摩揭陀 (Magadha) 地方の血統を承けたるアリヤン民族が錫蘭に移住すると共に、印度半島のアリヤン文明を移植したり。是より以後、或は南印度の人民、或は北印度の種族が錫蘭に轉住し、益々半島のアリヤン文明は錫蘭に渡來したりと雖も、ヴェツダ種族は是が爲に衰頹すると無く、アリヤン民族の發展と共に平行發達したりとて、ヴェツダ種族の古今を敘し、其人種・習慣・言語・宗教を詳述し、現今錫蘭の森林に住するヴェツダ種族は原始時代の人民に非ずし

て、一旦文明の境界に在りし人民が退化して今の状態に在ることを證明せり。

第二編に於て、著者は瓦石等の建築材料を調査し、進んで市街の建造、堂塔の構成、農業の土木殊に水利を研究して、錫蘭上古の物質文明の状態を實物上より説明したり。第三編に於て、著者は先づ錫蘭上古の刻文八十三種を公にし、其解釋を試みたり、錫蘭の古代刻文は既に學者に依りて公にせられたるものありと雖も、著者の如く多數に収集せしものなく其の中には、未だ世に知られざるものも少からず、而して古きは實に西紀前三世紀に遡れり。錫蘭古代の錢貨も多數に収集せられて著者の説明を得たり。之を要するに本書は錫蘭文明史の一部を説ける良著として學者の參考となるべき性質を有す。

(堀謙徳)